

天溪 2018年「紅葉のカナディアンロッキーとオーロラ 9日間」

「紅葉カナディアンロッキーとオーロラ 9日間」を9月13日～9月21日に行いました。

このツアーはカナディアンロッキーの紅葉ハイキングとオーロラ鑑賞を組み合わせたものです。まず、3日滞在すればどこかでオーロラを見る事が出来る、と言われるカナダのイエローナイフへ。殆どの日本の皆様は冬にオーロラが出現すると思われがちですが、実話一年中現れています。ただ、夏の白夜は夜が無く、一方空に雲が有れば見る事が出来ません。要は夜暗くなり、晴れの確率高く、その場所に行く交通機関が有る所が条件です。そんなところがイエローナイフでカナディアンロッキーにも近いことから両方をワンパッケージにしました。尚、オーロラは北緯・南緯 60～65 度辺りの上空にあるオーロラベルト(移動する)を中心に出現します。



(オーロラ・ダンシング 9/14日)

オーロラ 9月13日～9月15日の3夜

今年は3夜の鑑賞機会の内、2夜で揺れ動くオーロラを見る事が出来ました。特に9月14日、この日はボートでプライベートのコテージに行きバーベキューを楽しみながらオーロラを鑑賞する日で、正に思惑が的中。私達だけの場所で大空に揺れ動くオーロラ、俗に言う「オーロラ・ダンシング」が現れ、揺れ動くたびにオーと歓声が上がりました。掲載したオーロラの写真はISO3200、シャッタースピード4秒、撮影後の色付け加工は特にして有りません。殆どのオーロラを肉眼で見た場合は白色で、カメラのレンズに通すとご覧の様に緑色になります。赤色のオーロラは珍しく余り見る事が出来ません。この時の外気温は3度、無風で風を切って進むボートに乗船した時だけ厚手の防寒具を着用しました。



(夕闇のオーロラ 9/14日)



(湖面に映るオーロラ 9/14日)



(オーロラの流れ 9/14日)

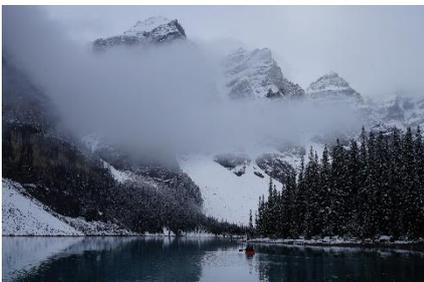


○ラーチバレー

イエローナイフからカルガリーへ、そして車でバンフへ。バンフはこの4日間ほど雪模様の日が続いた様で、あちこちに雪が残っていました。余談ですがバンフとイエローナイフは紅葉の進行状態がほぼ同じです。と言うのは、イエローナイフはバンフ北方約1500kmに位置しますが標高200m、バンフは標高1300m。簡単に言えば標高差が紅葉の時期を合わせています。翌日はカナディアンロッキーの景勝地、モレーンレイク&テンピークスの山容が目の前に迫るラーチバレー迄ハイキングに出かけました。まだ、紅葉が始まったばかりと言うのにラーチバレーは全く冬の様そう。皆様、秋と冬の両方を楽しまれました。



(ラーチバレー9/17日)





○ジャスパーへ

ジャスパーへ向かう途中、コロンビア大氷原の手前にあるパーカーリッジへハイキング。この地は標高 2000mを越え、寒風が吹く寒い所で、辺りはトレイルを含め真っ白の冬状態でしたが、秋分前の強い日差しも有って機嫌に登って来ました。そして最終日はジャスパーから Mt ロブソンの麓にあるキニーレイクに往復ハイキング。最終日にして漸く雪の無い正に紅葉のカナディアンロッキーを楽しむことが出来ました。



(パーカーリッジへ 9/18 日)



(ロブソンランチ 9/19 日)



(Mt.ロブソン 9/19日)

その他(余談)

9月13日 出発当日の早朝、成田空港で爆発物騒ぎが有り A 滑走路が閉鎖との情報。私達の利用する飛行機は午後なので影響ナシと思いながらチェックすると他社の便は通常通り飛んでいるのに私達の便だけキャンセル。どうも爆発物と関係無く機体のトラブルとか。それから涙ぐましい努力と心労、チケット業者の協力を得て、何とか全員他社の便に振り替えてバンクーバーへ。そこからカルガリー経由、エドモントン経由の2グループに分かれてイエローナイフに向かいました。現地到着は予定より30分ほど遅れたものの心配したスーツケースのロストもなく無事到着。こんなトラブルが有ってか素晴らしいオーロラが現れました。

記 天溪 赤沼